

平成18年2月期 第1四半期財務・業績の概況（非連結）

平成17年6月24日

上場会社名 株式会社 セキド (コード番号：9878 東証第2部)
 (URL <http://www.sekido.com/ir/index.html>)
 問合せ先 代表者役職 代表取締役社長
 氏名 関戸正実
 責任者役職 取締役執行役員経理担当 TEL:(0426)43-6835
 氏名 江崎 武

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有 無
 (内容)

第1四半期におきましては、実地棚卸は行わず帳簿棚卸残高によっております。

最近会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有 無

2. 平成18年2月期第1四半期財務・業績の概況（平成17年2月21日～平成17年5月20日）

(1) 経営成績の進捗状況

(注)記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
平成18年2月期第1四半期	8,402	20.0	230	-	237	-	231	-
平成17年2月期第1四半期	10,498	2.7	204	-	201	-	210	-
(参考)平成17年2月期	45,295	5.5	426	-	429	-	1,992	-

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
平成18年2月期第1四半期	17	12	-	-
平成17年2月期第1四半期	15	56	-	-
(参考)平成17年2月期	147	48	-	-

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示す。

期中平均株式数 18年2月期第1四半期 13,508,422株 17年2月期第1四半期 13,511,474株 17年2月期 13,510,596株

[経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期（平成17年2月21日～平成17年5月20日）におきましては、企業業績や各指標に改善の兆しが見られたものの、個人消費については依然として厳しい状況で推移しております。

このような状況のもと当社といたしましては、計画どおり昨年に引き続き不採算店舗の閉鎖を進め、当四半期においてアカマル地区（群馬県高崎市）の不採算部門及びラブ君高倉店（東京都八王子市）の閉鎖を実施しました。また、既存店においては、ファッション事業を中心にSSS館林店などのリロケーション等活性化を図ってまいりましたが、店舗閉鎖の売上高に与えるマイナスの影響が大きく、売上高は8,402百万円（前年同期比 20.0%）となりました。また、利益面におきましても、店舗閉鎖にともなう地区集積地の既存店の収益悪化やリロケーションにともなう費用等が影響し、営業損失230百万円（前年同期は204百万円の損失）、経常損失237百万円（前年同期は201百万円の損失）、四半期純損失231百万円（前年同期は210百万円の損失）となりました。

当第1四半期において不採算店舗撤退に目途が立ちましたので、第2四半期以降においては不採算店舗撤退による損益改善の効果が発生する予定であります。

(2) 財政状態の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
平成18年2月期第1四半期	22,085	8,541	38.7	632 34
平成17年2月期第1四半期	25,213	10,546	41.8	780 59
(参考)平成17年2月期	25,081	8,774	35.0	649 52

(注) 期末発行済株式数 17年2月期第1四半期 13,507,789株 17年2月期第1四半期 13,511,334株 17年2月期 13,509,234株
 期末自己株式数 17年2月期第1四半期 11,585株 17年2月期第1四半期 8,040株 17年2月期 10,140株

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
平成18年2月期第1四半期	2,533	160	582	4,582
平成17年2月期第1四半期	966	69	756	5,059
(参考)平成17年2月期	1,350	200	317	7,545

[財政状態の変動状況に関する定性的情報等]

当第1四半期における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前期末に比べ2,962百万円減少し、4,582百万円となりました。

当第1四半期中における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期において営業活動の結果減少した資金は2,533百万円(前年同期は966百万円の減少)となりました。これは主に、売上債権が313百万円増加、たな卸資産が573百万円増加、前期末日が金融機関の休業日であったことによる1,006百万円の支出を含め、仕入債務が813百万円、未払金(添付資料では「その他」に含めて表示しております。)が342百万円減少したためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期において投資活動の結果回収した資金は160百万円(前年同期は69百万円の回収)となりました。これは主に、有形固定資産の取得45百万円、差入保証金の支出49百万円などがあるものの、差入保証金の償還250百万円等により増加したためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期において財務活動の結果減少した資金は582百万円(前年同期は756百万円の減少)となりました。これは主に、長期・短期借入金の純減少額582百万円によるものであります。

[参考]

平成18年2月期の業績予想(平成17年2月21日 ~ 平成18年2月20日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	19,000	310	360
通期	40,500	150	60

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期) 4円44銭

平成17年4月4日に発表しております決算短信(非連結)の予測数値からの変更はありません。上記の業績予想は、本資料の発表時現在において入手可能な情報により作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる場合があります。

〔添付資料〕

1.(要約)四半期貸借対照表

(単位：百万円、単位未満切り捨て、%)

科 目	当四半期 (平成18年2月期 第1四半期末)	前年同四半期 (平成17年2月期 第1四半期末)	増 減		(参考) 平成17年2月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
流動資産					
現金及び預金	5,272	5,761	488	8.5	8,254
売掛金	1,268	1,530	262	17.1	1,019
商品	6,912	8,101	1,189	14.7	6,338
その他	732	396	335	84.6	458
貸倒引当金	-	-	-	-	1
流動資産合計	14,186	15,790	1,603	10.2	16,069
固定資産					
(1)有形固定資産					
建物	1,470	1,618	147	9.1	1,477
土地	2,414	2,443	28	1.2	2,443
その他	369	383	14	3.7	379
有形固定資産合計	4,254	4,445	190	4.3	4,299
(2)無形固定資産	207	343	135	39.6	241
(3)投資その他の資産					
差入保証金	2,814	3,755	941	25.1	3,594
その他	623	904	281	31.1	876
貸倒引当金	-	25	25	100.0	-
投資その他の資産合計	3,437	4,634	1,197	25.8	4,471
固定資産合計	7,899	9,423	1,523	16.2	9,012
資産合計	22,085	25,213	3,127	12.4	25,081

(単位：百万円、単位未満切り捨て、%)

科 目	当四半期 (平成18年2月期 第1四半期末)	前年同四半期 (平成17年2月期 第1四半期末)	増 減		(参考) 平成17年2月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(負債の部)					
流動負債					
支払手形	595	662	67	10.1	1,064
買掛金	1,318	1,977	659	33.3	1,553
短期借入金	6,626	5,710	915	16.0	7,075
賞与引当金	217	273	56	20.6	128
ポイント費用引当金	234	358	124	34.7	241
店舗閉鎖損失引当金	655	496	159	32.2	1,801
その他	1,330	1,347	16	1.2	1,686
流動負債合計	10,978	10,826	151	1.4	13,551
固定負債					
長期借入金	1,063	2,109	1,046	49.6	1,196
退職給付引当金	833	962	128	13.4	865
繰延税金負債	59	52	7	13.6	60
その他	610	716	106	14.8	633
固定負債合計	2,566	3,840	1,274	33.2	2,755
負債合計	13,544	14,666	1,122	7.7	16,307
(資本の部)					
資本金	2,904	2,904	-	-	2,904
資本剰余金					
資本準備金	4,359	4,359	-	-	4,359
資本剰余金合計	4,359	4,359	-	-	4,359
利益剰余金					
利益準備金	450	450	-	-	450
任意積立金	2,930	2,933	2	0.1	2,933
第1四半期(当期)未処理損失	2,152	141	2,010	-	1,923
利益剰余金合計	1,227	3,241	2,013	62.1	1,459
その他有価証券評価差額金	51	42	9	21.3	52
自己株式	2	1	0	52.5	1
資本合計	8,541	10,546	2,005	19.0	8,774
負債、資本合計	22,085	25,213	3,127	12.4	25,081

2.(要約)四半期損益計算書

(単位：百万円、単位未満切り捨て、%)

科 目	当四半期 (平成18年2月期 第1四半期)	前年同四半期 (平成17年2月 期第1四半期)	増 減		(参考) 平成17年2月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
売上高	8,402	10,498	2,095	20.0	45,295
売上原価	6,366	7,989	1,622	20.3	34,962
売上総利益	2,035	2,508	472	18.9	10,332
販売費及び一般管理費	2,266	2,713	446	16.5	10,759
営業損失	230	204	26	-	426
営業外収益	17	25	8	32.1	109
営業外費用	24	22	1	5.9	111
経常損失	237	201	35	-	429
特別利益	14	1	12	718.9	1
特別損失	0	1	0	65.4	1,530
税引前四半期(当期)純損失	223	201	21	-	1,957
税金費用	8	9	0	10.3	34
四半期(当期)純損失	231	210	20	-	1,992
前期繰越利益	1,921	68	1,989	-	68
第1四半期(当期)未処理損失	2,152	141	2,010	-	1,923

(注)第1四半期会計期間における税金費用については、税効果会計を適用しておらず、住民税均等割り額の概算額を計上しております。

3.(要約)四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円、単位未満切り捨て)

区 分	当四半期 (平成18年2月期 第1四半期)	前年同四半期 (平成17年2月期 第1四半期)	(参考) 平成17年2月期
	金 額	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前当期純利益(は損失)	223	201	1,957
減価償却費	89	116	466
貸倒引当金の減少額	1	1	25
賞与引当金の増減額	88	49	95
ポイント費用引当金の増減額	6	20	97
店舗閉鎖損失引当金の増減額	151	65	1,240
退職給付引当金の減少額	32	1	97
受取利息及び配当金	6	7	36
支払利息	24	22	98
固定資産除却売却損	0	0	159
売上債権(前受金含む)の増減額	313	358	176
たな卸資産の増減額	573	954	808
仕入債務の増減額	813	437	482
未払消費税等の減少額	89	69	66
その他	458	86	393
小 計	2,469	925	1,449
利息及び配当金の受取額	1	0	7
利息の支払額	32	24	89
法人税等の支払額	32	16	17
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,533	966	1,350
投資活動によるキャッシュ・フロー			
定期預金の純減少額	18	57	50
有形固定資産の取得による支出	45	95	453
無形固定資産の取得による支出	4	2	5
差入保証金の取得による支出	49	101	104
差入保証金の回収による収入	250	222	379
その他	9	10	67
投資活動によるキャッシュ・フロー	160	69	200
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純減少額	120	334	391
長期借入れ(1年内含む)による収入	-	-	1,200
長期借入金(1年内含む)の返済による支出	462	393	1,084
自己株式の取得による支出	0	0	0
配当金の支払額	0	28	41
財務活動によるキャッシュ・フロー	582	756	317
現金及び現金同等物に係る換算差額	7	9	9
現金及び現金同等物の増加額(又は減少額)	2,962	1,644	841
現金及び現金同等物の期首残高	7,545	6,704	6,704
現金及び現金同等物の期末残高	4,582	5,059	7,545